

方である。このBLS教育やグッドサマリタン法、いわゆる命の教育について伺う。

△教育長△

BLS教育は、子どもの時からの反復練習を通じて、単に健康危機に対する対処の技術を学ぶことのみならず、救命行動に対する積極性を身に付け、実践を通して生命の尊厳や市民としての義務などの意識を根付かせることを目的としており、まさに命の教育という考えに深く通じるものと考えている。また、善意をもって行ったことに対しては、結果のいかんに関わらず罪に問わないというアメリカのグッドサマリタン法についても、社会理念として定着していく必要があると考えている。

(掲載以外の質問事項)

一 (①土浦市において緊急時に現場到着までの時間はどの程度かかるのか②市職員のアED講習について③高校生のAED講習について)



合併効果がどの様に予算に反映されたのか



中田 正広 議員

△質問△

合併効果がどの様に新年度予算に反映されたのか、具体的事例の金額と効果を、翌年度又は将来的に予想される具体的事例の金額と効果を伺いたい。また、この合併期の予算において、市長が思われていた予算査定と実際の結果としてどのような感想を持たれたのか伺う。

△市長△

合併は最大の行政改革であるという理念に沿って合併効果を強く意識し、スケールメリットを活かした予算編成に心掛けた。その一端として、職員人件費については、実質的に一億九千六百万円の減、事務の合理化により旅費の一千二百万円、需用費の四千七百万円の減などがある。合併に伴い、旧新治村において生活保護費の七千六百万円など、新たに二億八千八百万

都市再生のための地籍調査について



川口 玉留 議員

円の行政需要が生じたが、一般会計で土浦市分、旧新治村分それぞれ本年度の当初予算を下回り、合併による効果を新年度予算に反映できたものと認識している。

(掲載以外の質問事項)

二 水道料金制度の値下げと公平性について

△質問△

都市の地籍整備の状況を改善し、都市開発や公共事業の円滑化、迅速化並びに安心できる土地取引の基盤づくりを進めることが、都市再生を推進する上で極めて重要である。本市の対応はどのようになっているのか、また、板谷六丁目地内に現況と登記簿による土地が合致しないところがあるが、現状はどのようになっているのか、伺う。

△産業部長△

本市の国土調査事業は、調査計画面積七〇・八平方キロ

メートルに対し、平成十七年度末現在で六〇・一平方キロメートルが完了しており、進捗率は八十五パーセントとなっている。今後は、土地所有者からも国土調査実施に向けて強い要望があることから、未調査区域を進めていきたい。

△建設部長△

板谷六丁目地内における国土調査事業に伴う問題も現段階では解消されたので、今後は市道板谷十二号線の道路改良工事の着手に向けて、拡幅用地について地権者の御協力をいただきながら、用地買収等を進めてまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

一 二〇〇五年人事院勧告について
三 中国残留孤児問題

洪水ハザードマップと迅速な情報の伝達について



小坂 博 議員

場所がわかるということなので、大変喜ばしいと思うが、その目的と内容について伺う。また、大雨災害時に、迅速にどうやって避難などの情報を流すのかも伺う。

△総務部長△

洪水ハザードマップは、堤防の決壊等による浸水情報と避難方法等に係る情報を住民にわかりやすく図面などに表示して、事前に公表し、平常時から防災意識の向上と自発的な避難の心構えを養い、警戒時、災害時における住民の円滑かつ迅速な避難を可能とすることを目的としており、浸水状況及び想定区域や避難場所などの避難情報を記載するものである。大雨災害時の情報伝達については、土浦市水防計画において、広報車、消防車両等による巡回広報や報道機関による広報などであり、円滑かつ迅速な情報伝達に努めてまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

一 歴史の小径整備事業、歴史的町並み景観形成事業について

